

### はじめに

バードストラップは快適な使い心地に加え、お客様ご自身でパーツを交換することができる画期的な管楽器用ストラップです。安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず本説明書をお読みください

### 使用上の注意

- 楽器の落下事故等に関しては、いかなる場合においても弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください
- サイズの調節や分解、組み立ての際は、お客様の責任のもと、慎重に作業を行ってください。
- 誤飲の恐れがありますので、パーツ類の使用や保管には十分注意し、子どもの手の届かないところでお使いください。

### 各パーツの名称・機能の紹介



#### ① イヤモニ固定パッチ付きネックパッド

2つに分かれた厚手のクッションが首への負担を分散させるスタンダードタイプと同じ形状。繰り返し洗えるウォッシュアップ仕様。イヤモニのコードを固定できるパッチ付き。

#### ② サイドアジャスター

ストラップ全体の長さを調節できます。ブレード（紐）を切らなくてもよいため、ソプラノ⇄バリトン用などのサイズ変更も可能。また、ストラップの分解・組み立てが簡単で、手軽にパーツ交換ができます。

#### ③ ブレード（紐）

通常モデルよりも細くて硬い、バードストラップ・プロ専用パーツ。

#### ④ V型プレート

独自の形状が首元の圧迫を防ぐ、アルミ製の調節金具。通常モデルよりも一回り小さくて薄い、バードストラップ・プロ専用パーツ。

#### ⑤ フック

激しいパフォーマンスにも安心なスナップフック。フックリングの摩耗対策に、ビニール製のチューブを装着しています。ロック機能のないS字フック（別売）もご用意。

※ ③と④により、通常モデルに比べて音の振動伝達が向上。反応がよくなり、骨伝導を通じたモニタリングがしやすくなります。また、音の響きが豊かになります。

※ サイドアジャスターとV型プレートは2mm紐専用で、クラリネット用バードストラップと共通です。

※ スナップフックにはDCTV処理を施し、音の響きを向上させています。



#### V型プレートの動かし方

写真のように持ちます。

上げるときはV型プレートを紐と平行に、

下げるときは親指で前に傾けるようにしてスライドさせます。

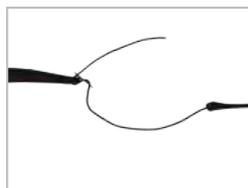
### お使いいただく前に



① V型プレートを5cmほど上げた状態にします。



② 紐の結び目をほどき、サイズ調節を行います。長さが決まったら、紐を止め結びにして固定します。



（止め結び）



③ 必要に応じて余分な紐を切ります。ライターなどを使い、先端がほつれてこないように処理をします。

### サイズの目安と注意点

#### サイズ表

S	M	L	XL
約50cm	約53cm	約60cm	約68cm

※ ネックパッドを二つ折りにした状態で、上端からフックの先端までの長さ

ブレード（紐）を切らなくてもサイズ変更ができます。

S⇄XLなど、日によって使い分けをされる場合は、**紐を短く切りすぎないようにご注意ください。**

余分な紐を切る際は、落下事故防止のため、**先端は必ず3cm以上残してください。**

また、先端がほつれてこないように**必ず熱処理を行ってください。**作業の際は火傷にご注意ください。

## 分解方法

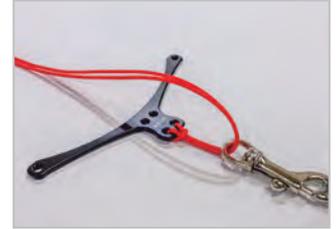
ブレード(紐)の先端の止め結びをほぐりだけで分解できます。別売りのカスタムパーツを使ったカスタマイズや、消耗したパーツの交換が手軽に行えます。

## 組み立て方法

■V型プレートとネックパッドの向きにご注意ください。V型プレートはB.AIRのロゴがある面、ネックパッドはカーブの内側が正面になります。

### 1 V型プレートとフックにブレード(紐)を通す

- ① 紐を二つ折りにし、それぞれの先端を、V型プレートが一番下の二つの穴に裏側から通します。  
写真のように、ブレード(紐)を輪っかにくぐらせ、V型プレートに結びつけます。このとき紐の長さを揃えてください。
- ② ブレード(紐)をフックに通します。

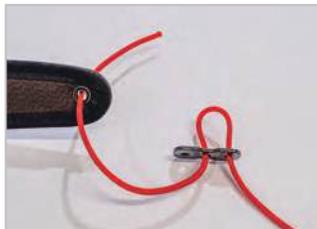


- ③ 一番下の二つの穴に、今度は表側から紐を通します。  
このときにブレード(紐)が交差しないようにご注意ください。
- ④ 真ん中の二つの穴に、裏側からブレード(紐)を通します。このときも紐が交差しないようにご注意ください。
- ⑤ 一番上の左右の穴に、表側からブレード(紐)を通します。



### 2 サイドアジャスターとネックパッドを取り付ける

- ① サイドアジャスターの下二つの穴に、ブレード(紐)を写真のように通します。
- ② ネックパッドの穴に裏側からブレード(紐)を通します。
- ③ サイドアジャスターの一番上の穴にブレード(紐)を通します。



- ④ 写真のように、ブレード(紐)の先端を止め結びにします。  
このとき、必ず先端を3cm以上残してください。
- ⑤ 反対側も同じように行います。
- ⑥ しっかりと固定されているか、必ず確認してください。

〈止め結び〉

